

# 分子病理疫学講演会

※講演は、日本語です。  
医学セミナーを兼ねています。

## 統合的Pathobiology-Population 科学 の展望

(+仕事の充実とキャリア発展のヒント)

日時：2026年2月9日（月）17:00～18:30

会場：筑波大学 臨床講義室D

### 荻野 周史 先生 MD, PhD, MS

ハーバード大学医学部／ブリガム・アンド・ウィメンズ病院

病理学教授 兼 分子病理疫学部門長

ハーバード T.H. Chan 公衆衛生学大学院 疫学教授

東京科学大学グローバルフェロー

荻野先生は、疫学と腫瘍分子情報を統合する **Molecular Pathological Epidemiology (MPE)** の創始者であり、**PIK3CA** 変異陽性大腸がん患者で**アスピリン**が顕著な生存改善を示すことを報告するなど、治療効果やリスク因子を腫瘍分子サブタイプ別に評価する研究を先導してきました。また、腫瘍免疫やマイクロバイオーームも取り込んだ解析を進め、**精密医療と公衆衛生をつなぐ新たな研究パラダイム**を構築されております。



本セミナーでは、統合的科学（病理学、微生物学、免疫学、疫学、生物情報学）の思わぬ効用について、初心者にもわかりやすく、ご講演いただきます。また、米国でのご経験から、キャリア発展についての示唆もいただけます。

皆さま、奮ってご参加ください。

連絡先：筑波大学医学医療系社会健康医学（内線：6004）